



No. 74

The University of Tokyo Forests News 科学の森ニュース

June 10, 2016

発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

防災シンポジウムを開催

生態水文学研究所

1月30日(土)、愛知県犬山市において、生態水文学研究所主催シンポジウム「水害・土砂災害から住民の命を守るには一犬山市および周辺地域の過去の災害の教訓をどうすれば生かせるかー」が開催されました。80名の参加者は、まず、専門家による地域の自然災害史、同研究所犬山研究林での災害対策研究の取り組みについての講演を聞き、その後、専門家、地元の防災行政担当者、市民を交えたパネルディスカッション「犬山市民から一人の犠牲者も出さないために、過去の災害の教訓をどうすれば生かせるか」を行いました。現在、各地でさまざまな災害が起こっていることもあるからか、参加者の意識は高く、活発な議論が行われました。



講演に聞き入る参加者

大学間里山交流会を開催しました

富士癒しの森研究所

第11回大学間里山交流会が3月4日（金）、5日（土）の2日間で、富士癒しの森研究所で開催されました。この交流会は、郊外や里山エリアでの教育活動を行っている大学の集まりで、当研究所では昨年度から参加しています。今回は、西日本～関東の7大学、17名の教職員や学生が集まりました。初日は、各大学が取り組んでいる教育や研究、地域社会との連携活動が報告され、教育活動における安全管理などについて議論しました。二日目は、皆さんを研究所林内に案内し、授業での学生の木工作品などを前に、和気あいあいと活発な意見交換が行われました。



林内を散策しながら活発に意見交換が行われました

第1回東京大学技術発表会が開催されました

3月10日～11日に、東京大学の技術職員全体が参加する第1回東京大学技術発表会が弥生キャンパスで開催されました。技術職員にとって念願となっていた本発表会は、2013年に検討が開始されましたが、この3月ようやく実現されました。当日は、131題の発表と341名の参加（他大学等25名を含む）がある大規模なものとなり、演習林からも19題の発表と35名の参加がありました。今回は初めてということもあり、所属する施設や日常業務を紹介する発表が多く、これまで接する機会の少なかった異なる部局の技術職員が互いを知る貴重な機会となりました。すでに

第2回開催の話題も出ており、今後、技術交流や情報交換が進んでいくことと思われます。



ポスター発表の様子

親子でビントゥバーのチョコレート作り体験

樹芸研究所

3月19日（土）、下田市と共催で市民公開講座「チョコレート作りを体験しよう！」が行われました。小学生親子18名がビントゥバー（Bean to Bar）のチョコレート作り体験に参加しました。ビントゥバーは、発酵・乾燥した状態のカカオ豆をフライパンでイイ匂いが立つまでローストし、丁寧に皮を剥き、すり鉢で一生懸命磨り潰すという過程にこだわりがあり、湯せんで溶かして固め直す手作りチョコレートとは異なるものです。最後にカカオバターと好みの量の粉糖と粉乳を加えて、温泉でテンパリング*して冷やせば、おいしい粗挽きチョコの出来上がり！みんなで美味しくいただきました。

*温度調整をすることでチョコレートの口当たりと見た目をよくする



カカオの木の力でチョコ作り

東京大学演習林出版局では、書籍の企画・販売を行っています。具体的には、地方演習林や演習林の教職員が中心となって企画出版した書籍のISBNの発行、販売実績の定期的な把握などを行っています。附属施設で独自の出版局があるというのはなかなか珍しいことかもしれません。出版局の書籍としては、地方演習林の歴史や自然、特徴的な教育研究の内容を分かりやすく解説する本、時代ごとに求められるニーズのテーマに絞った本、秩父演習林や生態水文学研究所で発行されている各種リーフレット、ガイドブックなどがあり、全部で35冊にもなっています。これらの書籍は関連する地方演習林、生協農学部店、ジュンク堂書店池袋本店などで販売しています。いずれも内容が充実している割に、お求めやすい価格です。これらの書籍を携えて演習林に来ていただければ、これまでとは違った魅力を発見できるかもしれません。



ずらりと並んだ演習林出版局のラインアップ

2016年の新刊は以下の通りです。

「千葉演習林生き物ガイドブック (A5判、52ページ、500円+税)」

「東京大学赤津研究林の見どころー2016年改訂版ー (A5判、30ページ、463円+税)」

「犬山研究林の自然ー春・夏ー (A5判、30ページ、463円+税)」

「森の健康診断の10年 愉しくてためになる流域の森のキヅキとマナビ (A5判、240ページ、1500円+税)」



東京大学演習林出版局の本は、< <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/publish/publications/> > でご覧になることができます。

演習林のイベント情報

詳細はホームページをご覧になるか、各地方演習林にお問い合わせください。

【6月】

- 4-5日 総合科目「ダムと森林」☆ (生水研)
- 5日 子ども樹木博士認定会 (田無)
- 11-12日 全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」☆ (秩父)
- 18日 とよた森林学校2016「森林セミナー」◆ (生水研)
- 19日 公開セミナー (北海道)
- 25日 コープあいち「森づくり植生調査」◆ (生水研)
- 26日 シデコブシの会「探鳥会」(生水研)

- 17日 シデコブシの会「初夏の植物観察会」(生水研)
- 25-27日 高校生のための森と海のゼミナール
～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～◆ (千葉)

【8月】

- 2-6日 全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1」☆ (樹芸)
- 5-6日 東大の森で昆虫採集 (秩父)
- 13日 愛知中部水道企業団「水とふれあう親子ツアー」(生水研)
- 30日～9月3日 全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2」☆ (樹芸)

【7月】

- 9-10日 全学体験ゼミナール「君はスギ・ヒノキのことを
本当に知っているのか? (入門編)」☆ (千葉)
- 10日 大麓山ハイキング登山会 (北海道)

凡例…無印：一般向け ☆：学生向け ◆：その他
(<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/>)

科学の森の動植物紹介

ギフチョウ
アゲハチョウ科ギフチョウ属
学名：Luehdorfia japonica

生態水文学研究所

羽の模様の鮮やかさと希少さから「春の女神」と呼ばれる美しいチョウです。秋田県から山口県の低山地帯に生息しています。春に生まれた幼虫は夏から翌年の春まで蛹で過ごすため、春の限られた期間しか成虫を見ることができません。生態水文学研究所の犬山研究林では、毎年3月末から4月後半まで見ることができます。近年は本種の生息域である里山の減少で数を減らしているとされており、環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。生態水文学研究所のサポーター団体である犬山研究林利用者協議会は毎年春にギフチョウと食草のヒメカンアオイの生態調査を行っています。



コバノミツバツツジで吸蜜するギフチョウ

名所・名物案内

富士癒しの森講義室

富士癒しの森研究所

富士癒しの森研究所に、新しい名所名物「富士癒しの森講義室」が誕生しました。この講義室は富士癒しの森研究所（旧名称：富士演習林）の開設当初に建てられて使用してきた築80年余りの木造建物の一部を改修し、今春に完成したものです。建築当時の榎普請（つがぶしん）の構造を残しつつ、所内のカラマツ間伐材をふんだんに用いており、落ち着いた佇まいで木のよさを感じることができます。床面は全面土間にし、屋外での実習と屋内での講義や作業を土足のままスムーズに往き来することができるように工夫しました。備え付けのホワイトボード、高速インターネット回線、無線LAN、大きなモニタ、豊富なコンセント等を設置し、昨今の情報機器を活用した実習および講義にも対応できます。照明はすべてLEDを使用し、暖房は薪ストーブで、省エネルギーにも配慮しています。15人程度の講義や実習には、十分なスペースがあります。同じ敷地内にある東大施設の山中寮や、講義室と同じ建物内にある自炊宿舎を使えば、宿泊での実習やゼミなどの利用にも便利です。是非ふるってご活用ください。



落ち着いた佇まいの「富士癒しの森講義室」入口

科学の森ニュース (The University of Tokyo Forests News)

第74号 (No. 74)

発行日 平成28年6月10日

発行人 富樫一巳

編集人 後藤 晋

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林広報情報委員会

TEL 03-5841-5497 FAX 03-5841-5494

E-mail mori2015@uf.a.u-tokyo.ac.jp